

令和8年度 市の方針と主要な事業

元気あふれる 安心快適な未来価値創造都市 おおむた
～ 有明海沿岸地域のリーディングシティ ～
の実現に向けて



令和8年度 市の方針と主要な事業

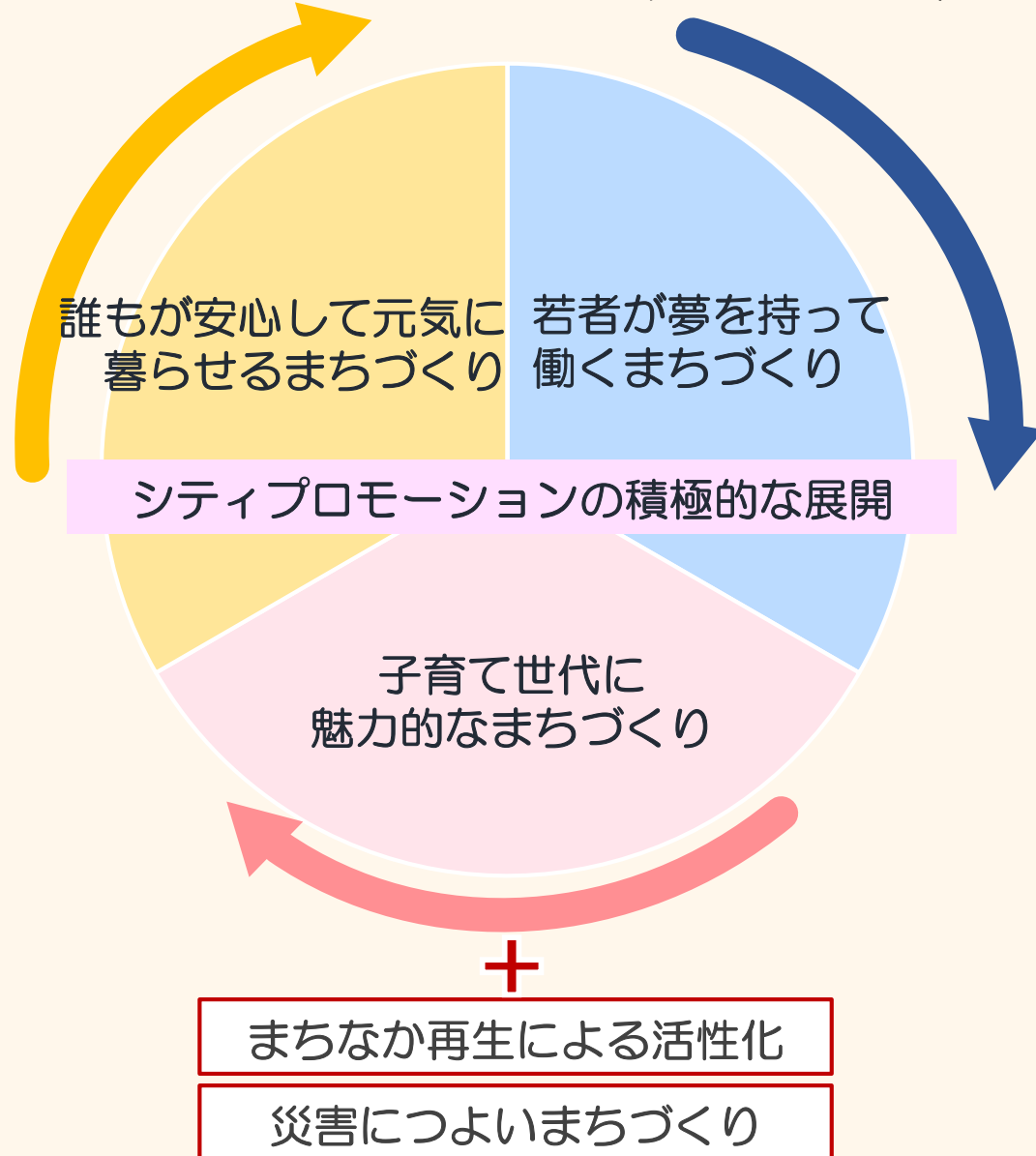
3つのまちづくりによる好循環を生み出すことで、将来を担う子どもたちが、この豊かな大牟田で安心して仕事をしながら生活できるようなまちを目指します。

加えて、「まちなか再生による活性化」や「災害につよいまちづくり」により、安心・安全に生活ができ、市内外の方にとって魅力的なまちの実現に向けて取り組みます。

特に、喫緊の課題である物価高騰への対応については、令和7年度補正予算による早急な支援と、令和8年度当初予算による継続的な支援を組み合わせることで、市民の暮らしや事業者の経営を切れ目なく下支えしていきます。

これまで以上に事業の選択と集中を進め、計画的に事業を実施することにより、効果的で効率的な行財政運営を推進します。

3つのまちづくりで生み出す好循環



くらしと市内産業を支える物価高騰対策

● 市民生活支援 ● 事業者支援

● 給食費の無償化 (所管課) 学務課

国が進める小学校と特別支援学校小学部の給食費の無償化に加えて、本市独自の支援として、中学校と特別支援学校中学部・高等部の給食費の無償化を行います。
(学校給食費負担軽減事業)



● 保育料等の負担軽減に向けて (所管課) 子ども育成課

保育所等に入所する児童の保育料算定における多子カウントの年齢制限を完全撤廃し、第3子以降は無償化、第2子は半額とすることで、保護者の保育料負担を軽減します。

あわせて、保育所等に入所する児童の副食費免除における多子カウントの年齢制限も撤廃し、第3子以降の副食費を無償化します。

また、令和8年度の給食材料費の物価上昇分を補助します。
(保育所等保育料・副食費負担軽減事業、保育所等給食費負担軽減事業)

● 地域商品券 (おおむたくらし応援券) の発行

(所管課) くらし応援券推進室

食料品価格等の物価高騰下における市民のくらしを応援するとともに、域内における消費促進による経済活性化を目的として、一人あたり5,000円の地域商品券を配付します。

(食料品等物価高騰支援地域商品券発行事業 ※令和7年度補正事業)

● 省エネ家電への買い換えを支援 (所管課) 環境保全課

省エネ性能の高い家電製品 (エアコン、冷蔵庫等) への買い換え費用の補助 (1世帯最大5万円) を行い、家庭におけるエネルギー費用負担の軽減やCO2排出量の削減を図ります。

(省エネ家電製品買換促進事業)



● プレミアム商品券の発行支援 (所管課) 産業振興課

域内における消費を喚起することで、物価高騰の影響を受ける地域経済の活性化を図るため、大牟田商工会議所によるプレミアム付き商品券の発行に係る事業費支援を拡大します。(発行総額14.4億円に増額)
(おおむたプレミアム商品券発行事業費補助事業 ※令和7年度補正事業)



● 中小企業の生産性向上と省エネを支援 (所管課) 産業振興課

市内中小企業等の競争力強化に向けて、IT導入等の生産性向上に向けた取組を支援するとともに、省エネ効果が期待される設備や機器等の導入に係る経費の一部を補助します。

(企業競争力強化促進補助事業※令和7年度補正事業、省エネ設備導入促進事業)

● 農林水産業の経営を支援 (所管課) 農林水産課

燃料や飼料などの生産資材価格高騰の影響を緩和し、経営継続を支援するため、農林漁業者に対してコスト上昇分の一部を補助します。
(漁業燃料価格高騰対策事業費補助、施設園芸燃料価格高騰対策事業費補助、畜産飼料高騰対策事業費補助 ※令和7年度補正事業)

● 福祉・子育て施設への支援 (所管課) 子ども育成課・福祉課

物価高騰の影響を受ける保育所や学童保育所、介護・障害福祉サービス事業所等に対し、光熱費や食材費の上昇分を支援し、市民生活に不可欠なサービスの維持を図ります。

(保育所等光熱費等負担軽減事業費補助、学童保育所等物価高騰対策応援金、介護・障害福祉サービス事業所負担軽減事業※令和7年度補正事業)

若者が夢を持って働くまちづくり

企業誘致の推進と地域企業支援の強化

● 企業誘致の推進 (所管課) 産業振興課

民間所有の工場適地などへの企業誘致や新たな産業団地整備に向けた取組とともに、まちなかへのAI・IT関連企業等の誘致を進め、新たな雇用の創出、税収の確保、市内企業との取引拡大など地域経済の活性化を図ります。

(企業誘致推進事業)

● 地域企業への支援 (所管課) 産業振興課

イノベーション創出拠点「^{アウレア}aurea」内の大牟田市ビジネスサポートセンターにおいて、生産性向上やDX対応など、中小企業が抱える様々な課題に対して、各種支援機関と連携を図りながら、相談・支援の充実に取り組みます。

(地域企業支援事業)

イノベーション創出の促進

● イノベーション創出の促進 (所管課) 産業振興課

イノベーション創出拠点「^{アウレア}aurea」を中心に、AI・IT関連企業等の誘致に取り組むとともに、産学官金等の関係機関と連携し、デジタル人材の育成や地域企業のIT導入支援など、イノベーション創出に向けた取組を一体的に進めます。

(イノベーション創出促進事業)



企業の人材確保支援

● 地域企業への就業促進 (所管課) 産業振興課、広報課

関係団体や市内高校等と連携し、企業合同説明会や地元企業と学校の情報交換会等を実施するとともに、魅力的な産業・企業を広くPRする産業フェスタを開催します。

あわせて、市内中小企業等に就職した若者に対する奨学金の返還や賃貸住宅の家賃の一部支援に加え、新たに東京圏内の大学生等に対する交通費や移転費等の地方就職支援金を交付すること等により、地域企業への就業やUITターンを促進します。

(地域企業への就業促進事業、シティプロモーション事業、移住定住促進事業)



※企業合同説明会

意欲ある農業者の支援

● 新規就農者育成 (所管課) 農林水産課

新規就農を促進するため、認定新規就農アドバイザーによる安定的な営農に向けた支援とあわせて、農業用施設の整備や農業用機械の導入および農地確保等のための支援を行います。

(新規就農・漁業者育成・確保事業)



子育て世代に魅力的なまちづくり

安心して出産・子育てができる環境の整備

● 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

(所管課) 子ども家庭課 (連携課) 学校教育課、指導室、福祉課

妊娠期から子育て期にわたり、各種相談対応や必要な情報提供・助言・保健指導など、保健や医療、福祉等の連携による切れ目ない支援を継続します。

特に、妊娠から出産・子育てまで、身近な伴走型の相談支援と経済的支援を一体的に行い、支援の充実を図ります。

また、子どもたちの個々の発達の特性を早期に把握し、子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう5歳児健康診査を新たに実施します。

(母子保健相談事業、妊婦のための支援給付事業、乳幼児健康診査事業)



※赤ちゃん広場の様子

● 子ども医療費の支援 (所管課) 子ども家庭課

0歳から中学3年生までの子どもを対象とした通院および入院医療費の自己負担分の一部を助成します。就学前までを無償とし、通院に係る小中学生の自己負担額をワンコイン(500円)に支援します。
(子ども医療費助成事業)



● 公立保育所の整備 (所管課) 子ども育成課

子育てニーズが多様化する中で公立保育所が果たす役割はより重要になることから、令和7年度に策定する「公立保育所整備計画」に基づき、市内唯一の公立保育所の整備(老朽化した天領保育所の建替え)を行います。

あわせて、①地域の子育て世帯と支援機関等をつなぐ子育て支援拠点、②配慮を要する子どもへの支援拠点(インクルーシブ保育のリーディング施設)、③保育の専門性を官民みんなで高めあう人材育成の支援拠点として、公立保育所の機能強化を図ります。

(公立保育所整備事業)

● 学童保育所・学童クラブの待機児童解消

(所管課) 子ども育成課

学童保育所・学童クラブの待機児童ゼロを目指し、認定こども園等での夏休みの預かり事業の充実を図るなど、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

(学童保育所等待機児童対策事業)



※夏休み児童預かりの様子

● 出産・入学おめでとうセットの提供

(所管課) 市民生活課、指導室

子どもの出生をお祝いするため、記念品を贈呈するとともに、保護者の家計負担軽減のため、入学時に必要な学用品等の一部を贈呈します。

(出産祝品贈呈事業、新入学祝品贈呈事業)

子育て世代に魅力的なまちづくり

学校教育の充実

● 小・中学校体育館への空調設備の設置 (所管課) 学務課

児童生徒の教育環境の向上と災害時の避難所の機能性を向上するため、小・中学校の体育館への空調設備の設置を進めます。

(体育館空調設備設置事業)



※体育館空調設備 (イメージ)

● 小中一貫教育の推進

(所管課) 学校教育課、学務課、学校再編推進室

小中一貫教育制度の導入を進め、義務教育9年間を見通した教育課程に基づく指導を行います。

あわせて、地域学校協働活動推進員を配置し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進します。これらを通して、学力の向上や心身の健全な育成、「中1ギャップ」や不登校の解消を目指すとともに、学校・家庭・地域の「つながり」を深め、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

また、義務教育学校の設置に向けた取組を進めます。

(小中一貫教育推進事業、義務教育学校設置推進事業)



※小中交流事業「ようこそ！先輩」

● 学力の向上 (所管課) 学校教育課、指導室

小・中学校に非常勤講師を派遣し、習熟度別や課題別の少人数授業を実施します。

あわせて、スタディサポーターの派遣や学力向上アドバイザーによる授業改善に向けた指導助言、デジタル教科書の活用、タブレット端末で利用できるドリル教材の活用などを進め、児童生徒の学力の向上を図ります。

(きめ細かな学習指導充実事業、学力ブラッシュアップ推進事業)

● 誰一人取り残さない学びの保障 (所管課) 指導室

校内教育支援センター「ハートフルルーム」や、学校外の居場所「サテライトスペース」を運営し、児童生徒の多様な学びの場の充実を図るとともに、スクールカウンセラーによる心のケアや、学習指導員による学びの支援を行います。

また、社会福祉の専門的知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携を図りながら、児童生徒や保護者等への支援をはじめ、教育相談の充実を図ります。

夜間中学「ほしぞら分校」においては、学び直しを支援するとともに、「学びの多様化学校」としての円滑な運営を図ります。

(ハートフルスクールプロジェクト推進事業、教育相談充実事業)

● SDGs/ESDの推進 (所管課) 指導室

(連携課) 防災危機管理室、世界遺産・文化財室、生涯学習課、環境保全課、教育みらい創造室

小・中・特別支援学校がそれぞれの地域特性を活かしながら行う、世界遺産、環境、福祉、防災・減災等の特色ある教育活動を支援し、持続可能な社会の創り手の育成を目指します。

(SDGs/ESD推進事業)



誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり

健康づくり

●健康づくり・フレイル予防の推進 (所管課) 健康づくり課

ウォーキング等の運動を促進するとともに、フレイルに関する測定・相談などの充実を図ることで、健康づくり活動に継続的に取り組む市民の増加を目指します。

また、様々なフレイル予防活動を推進し、誰もが生涯にわたって元気に暮らすための健康づくりを促進します。

(健康づくり推進事業、フレイル予防事業)



※商業施設でのフレイル測定会

介護人材の確保

●介護職員資格取得等の支援 (所管課) 福祉課

人材不足が生じている市内の介護および障害福祉サービス事業所で働く介護職員の資格取得等に対し、必要な経費の一部を支援します。

(介護人材確保支援事業)

地域コミュニティの活性化

●校区まちづくり協議会の活動支援 (所管課) 地域コミュニティ推進課

各地域では環境美化活動や子どもの居場所づくり、防犯・防災活動など、身近な地域課題の解決を図る取組が進められています。

こうした活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化を目指すとともに、加入率の低下や担い手不足等の課題解消に向けた取組を進めます。(校区まちづくり協議会等活動支援事業)

市民の安心・安全に向けて

●防犯カメラの設置補助 (所管課) 生活安全推進課

安心・安全に暮らすことができる地域社会の実現に向け、各地域における防犯カメラの設置に関する費用の一部を新たに補助します。

(防犯カメラ設置補助金交付事業)

誰もが安心して移動できる公共交通

●公共交通の利用促進に向けて

(所管課) 国県道路・地域交通対策課 (連携課) 観光おもてなし課

交通事業者や観光施策と連携し、公共交通の体験イベントや小学生を対象としたバスの乗り方教室、おおむた「大蛇山」まつりでの利用促進イベントなどを実施し、路線バスをはじめとする公共交通への支援や利用促進を図ります。(公共交通運行対策事業)

●地域のニーズに応じた生活交通

(所管課) 国県道路・地域交通対策課
(連携課) 福祉課

誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通サービス体系の構築に向け、地域のニーズに応じた生活交通の確保を支援します。

(生活交通支援事業)



※倉永地区での生活循環バスの様子

人と環境にやさしいまちへ

●子どもたちに美しい川や海を残すために (水洗化促進キャンペーン)

(所管課) 環境業務課、環境保全課、下水道課

公共下水道や合併処理浄化槽への切り替えに対する支援策や生活排水対策の重要性について広報・啓発の充実・強化を図るなどの水洗化促進キャンペーン最終年度の取組を進め、各家庭の水洗化を促進します。(浄化槽設置整備事業、水洗化普及促進事業)

●新たなごみ処理施設の整備 (所管課) 環境総務課

令和10年7月の供用開始に向けて、大牟田・荒尾清掃施設組合による新たなごみ処理施設の整備を進めます。

(新たなごみ処理施設整備促進事業)

まちなか再生による活性化

まちなかの活性化

● 官民連携によるまちなかの再生・活性化

(所管課) まちなか活性化推進室

まちなか再生未来ビジョンの実現に向けたUDCおおむたの取組や、若者による主体的なまちづくりの仕組みづくりを進めます。あわせて、賑わい創出に向けたイベントや若者が集まる場づくり等に取り組むことで、まちなかの再生・活性化を図ります。

令和8年度はUDCおおむたと連携し、遊休地となっている大牟田駅のJR貨物線跡地を活用して、滞在できる空間整備やマルシェ等を実施するなど、賑わい創出につながる取組を社会実験として実施します。

(官民連携まちなか再生推進事業、若者発! つながるまちなかづくり事業)



※大牟田駅西口でのイベント



※JR貨物線跡地活用イメージ

空き家等の発生抑制と利活用

● まちなかの空き家解消に向けて

(所管課) まちなか活性化推進室、建築住宅課

中心市街地の対象区域における、老朽危険家屋の市の寄附受けによる解体を進めるとともに、所有者で解体工事を行う場合の経済的な負担軽減を図るため、その経費の一部を補助します。

(まちなかストック活用事業、空家等対策推進事業)

新たな庁舎の整備に向けて

● 新庁舎および大牟田駅周辺エリアの整備

(所管課) 庁舎整備・組織改革推進室

新庁舎の速やかな供用開始に向け、新庁舎整備事業を着実に進めます。あわせて既存庁舎跡地への代替公園の整備等を通じて大牟田駅周辺エリアの活性化に取り組みます。

令和8年度は市庁舎整備に関する基本計画策定および基本設計に取り組むとともに、UDCおおむたなどの関係団体と連携しながら大牟田駅周辺エリアの価値向上に努めます。

(庁舎整備推進事業)



※議場を活用したコンサート



※庁舎前広場を活用したマルシェ

● 空き家の流通促進・発生抑制 (所管課) 建築住宅課

空き家(1年以上居住実態がない住宅)の流通促進と発生抑制のため、空き家のリフォーム(改修)、家財道具の整理等にかかる費用の一部を補助します。また、子育て世帯等には上乗せ補助を実施します。

(空き家活用リフォーム等支援事業)



※空き家を活用したリフォーム(例)

災害につよいまちづくり

わたしたちのまちの魅力を もっと知ってもらうために

●排水対策基本計画に基づく浸水対策の強化

(所管課) 土木管理課、土木建設課、流域治水推進室、下水道課、施設課、学務課

排水対策基本計画に基づき、ハード・ソフトの両面から効果的・効率的な浸水対策を実施し、浸水被害の軽減に取り組みます。

主な取組として、引き続き三川新ポンプ場の建設や白川排水区の雨水管渠整備、手鎌野間川の河川改良等を実施します。

また、降雨を一時的に貯留し、周辺地域への雨水流出を抑制するため、御木中学校グラウンドへの貯留施設の整備に向けた調査および、白井地区・歴木地区・浜町地区の浸水被害軽減のための調査等を実施します。

(道路新設改良事業、排水施設機能確保対策事業、都市下水道改良事業、手鎌野間川河川改良事業、排水対策基本計画推進事業、公共下水道雨水対策事業、学校グラウンド貯留施設整備事業)



※整備が進む三川新ポンプ場

●災害対応力の強化 (所管課) 防災危機管理室

各地域における防災訓練や避難所開設の支援等に取り組み、自助・共助を基本とした災害に対する備えの重要性を周知するとともに、災害対策本部設置運営訓練をはじめとした各種訓練を実施します。



※防災訓練

(地域防災力強化事業、災害対策本部機能強化事業)

●シティプロモーションの推進 (所管課) 広報課

産業フェスタの開催などを通じて、本市の住みやすさなどの魅力を市民に広く発信します。

また、本市の知名度向上とイメージアップを図るため、マスコミやSNS、シティプロモーションサイトを活用し、本市の魅力を市内外へ発信します。

(シティプロモーション推進事業)



●動物園の魅力向上 (所管課) 観光おもてなし課

モルモット舎整備に続き、レッサーパンダ舎の整備を行うことで、来園者がより間近で動物の生き生きとした様子を観察することができるようにするとともに、動物福祉に配慮した飼育環境を整えることで、動物園の魅力向上とワンヘルス理念の啓発を図ります。

(動物園整備事業)



●移住・定住の促進 (所管課) 広報課

お試し居住や様々なプロモーションを通して、本市の魅力である住みやすさを知ってもらうとともに、移住支援金制度等による支援を行い、移住人口の増加を図ります。

また、市民、特に若い世代が本市の魅力を再認識し、郷土への愛着や誇りを醸成する機会を増やすことで、定住の促進を図ります。

(移住定住促進事業)

